

子育て ショートステイ

Q 子育て家庭ショートステイは、保護者の病気などの他に育児放棄の場合なども利用できるのか。

A 保護者の病気や冠婚葬祭を理由に利用できる。DVや育児放棄などの場合も緊急一時的に利用できる。

学校開放管理運営は

Q 学校体育館のステージ部分をコート部分と区切り、子どものダンスチームや合唱団などへ貸し出しできないのか。

A ステージだけの貸し出しという設定はない。ステージ側コートを借りると、使用可能である。

バリアフリーの 推進は

Q 障がいのある人も安心して暮らせるまちのバリアフリーを目指すための、商店などへの補助の実績は。

A 商店にはないが、自治会公民館や社会福祉協議会、金融機関のスロープ工事や筆談ボード購入に補助を行った。

街灯の早期LED化を

Q 自治会管理の街灯のLED化率は。またLED化早期実現に向けての方策は。

A LED化率は約68%である。費用の約半額を補助しており、今後も1万円の補助は継続する。

災害時の水の確保は

Q 災害時の備蓄計画にペットボトルの水がない。備蓄する考えは。

A 災害時の飲料水は上下水道グループによる配水や協定に基づく流通備蓄で対応する。今後はペットボトルの備蓄も考えていく。

意見を聴く コーナーを

Q 町民の意見を聴くために庁舎入り口近くに意見箱があるが、来庁者にわかりにくい。新たにコーナーを設けるべきでは。

A 意見箱については、大きくしたり、皆さんにわかるようにしたい。意見箱だけでなくメールや電話などでも意見をいただいている。



▲開園した新設保育園



▲補助制度のある筆談ボード



▲自転車は駐輪場へ



▲役場入り口近くにある見つけにくい意見箱

待機児童の解消は

Q 10月から開園する小規模保育園によって、待機児童の解消は図れるか。

A 現在102名の待機児童がいる。新設保育園は0歳から2歳児を受け入れる施設で定員が19名であり、全ては解消できない。

記念撮影券の 未使用分は

Q 新生児の誕生を祝い、1年間有効の記念写真撮影券を交付しているが、撮影できる期限を過ぎた件数は。

A 平成29年度で54件、平成30年度は27件である。町からは期限が切れる3カ月前に案内を出している。

アライグマの把握は

Q 町内でアライグマを目撃したとの情報が寄せられている。特定外来生物としてのどのように対処しているのか。

A 捕獲器を仕掛け捕獲し、殺処分している。群れで生息しているが生息統計はとれていない。

駅周辺の 自転車整理は

Q 土山駅南側のBiVi土山周辺に放置自転車が多数あり、歩行者の安全確保や美観を損ねているが対応策は。

A シルバー人材センターに見回りを委託し注意喚起を行っている。近隣からの苦情もあり今後も対策を検討する。

エレベーターの 点検は

Q 土山駅自由通路と播磨町駅地下道のエレベーター保守点検委託料の算定方式、委託先の選定は適正か。

A 保守点検業者に見積もり合わせをして随意契約をしている。年4回の点検を実施している。

新幹線側道の 除草は

Q 新幹線側道に雑草が繁茂している。水路清掃やクリーンキャンペーンなどで除草をしているが、町の除草時期は。

A 自治会の清掃活動を考慮して、町としての除草時期が決まれば沿線の自治会にお知らせをしていきたい。